

研修名	児童養護施設職員向けの自殺対策研修 「児童養護施設の子どもたち～トラウマの視点での理解と対応～」
講師	福岡大学 精神科 斉藤陽子 先生
開催日時	令和4年5月17日（火） 13:00～16:00
開催場所	総合保健福祉センター2階 講堂
参加者数	27名（指導員、保育士など）
研修の 内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「トラウマの視点での理解と対応」をテーマに、児童養護施設職員向けの自殺対策研修を開催しました。 ・ 「ACE体験（逆境的小児期体験）」「トラウマインフォームドケア」「支援における10のポイント」「自傷行為」などについて講義を受けたのち、複数の症例を通してより具体的に理解を深められた研修となりました。 ・ 質疑応答では、実際の支援場面における対応方法など具体的な質問が出ており、講師の説明に熱心に耳を傾ける参加者の様子が見られました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ トラウマのある児童に対してどう対応をしていけばいいのか、何が大切なのか等、知識を身につけることができた。 ・ 子どもの行動に対してどんな気持ちなのか考え、適切な声かけをしていきたい。 ・ 自分自身の関わりが子どもの脳の発達に影響したり、心理発達に影響することを改めて理解し、できる限り家庭的な環境で子どもに寄り添い、養育していきたいと思った。 ・ 自殺しようとする人は「自殺したい」と言わないと思っていたが、それは間違いであることに気づいた。子どもがもし、そういった発言をした際に話を最後まで聞いてあげて、相手のことが大切であること、心配しているということをきちんと伝えようと思った。